

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	社会医療法人 凌雲会	代表者	稲次 正敬	法人・ 事業所 の特徴	住み慣れた地域・自宅での暮らしが維持できるよう、「通い」利用を中心に、利用者・家族の様態に応じ「訪問」「宿泊」を組み合わせ24時間・365日固定された時間にこだわらず、一人ひとりの生活に合わせ臨機応変に対応し、その人らしい生活、暮らし方が継続できるよう、一日の決められた日程等を設けることなく、家事活動を中心に利用者の持っている意欲、力を引き出し生きがいの持てる暮らしを目指しています。私たちは、可能な限り在宅で暮らすこと、最期までその人らしい人生を送っていただけるよう、その人の思いと願いを大切にされた支援・サービスを提供しています。
事業所名	小規模多機能ホーム 藍住の家	管理者	久米 崇史		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	人	人	0人	0人	0人	0人	人	7人	人	7人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	イベント内容の充実を図り、家族を呼んで実施できるよう努める。	時季に応じたイベントや外出は前年に比べ、多く実施できたが、家族を呼んでは行えなかった。	特になし	様々な職員がイベントの企画・立案をし、マンネリ化を防ぎ、内容の充実を図る。
B. 事業所のしつらえ・環境	季節感を感じてもらうような飾りつけを行い、施設内の雰囲気をも明るく保つ。	時季に応じた飾りつけを利用者とともにを行い、季節感を感じてもらうことができた。	特になし	感染防止のため、事業所内を清潔に保つ。
C. 事業所と地域のかかわり	家族会の開催	家族会を開くことはできなかった。	特になし	家族会の開催
D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み	地域の祭りやイベントへの参加機会の確保	徐々に子ども神輿を招くことができ、利用者も喜んでいた。	特になし	地域の祭りやイベントへの参加機会を増やす。
E. 運営推進会議を活かした取組み	事業所の取組みを積極的に発信していく。	ホッと通信で家族に状況を毎回伝えることはできている。	特になし	事業所の様子を分かりやすく伝えられるよう、レイアウトを工夫していく。
F. 事業所の防災・災害対策	様々な利用者、職員に防災・災害訓練に参加してもらう。	利用者が参加しての防災・災害訓練は実施できた。	特になし	防災の勉強会を実施する。